



毎月一四十五日發行(定價一部五錢一年郵稅共六十錢)

編輯 小野上 兼行人
發行 松田 所行發
印刷 忠上 所印刷
印刷 市田 所印刷
校對 市田 所印刷
校對 市田 所印刷
校對 市田 所印刷

手輕な纖維鑑別法とその將來

忠 郎

資源を持たない國は何れも困難に際して資源に苦むのは通例である。レーヨンが生絲の代用品として登場して獨自の位置を占めて來てから此處僅かに半世紀である。然るに此處數年前からステープルファイバーは棉花羊毛を以て來る國の代用品として姿を表して來た。於ても熱心に研究されて來た。

本邦に於ては今回の事變に關聯して一大飛躍をなしステープルファイバーの生産に於ても世界總產額約九億七千萬磅の約三八%即ち三億七千萬磅の巨額に達し、日獨伊等の天然資源に恵まれたる國の總產額の約七二%を製するに至つたのである。

殊に本邦としての現況は品質の善惡を論ずる時でなく如何様にしても社會の需要に應ずる事が一刻も餘餘をゆるさぬ有様である。嘗つて織物協會の某氏の講演の如く、亦毎日の新聞の一般世評の如く消費者の苦痛も目に餘るものもある事故に此の受難期の何れかの折に品質の改良の程度も進歩する事であらう。然し現在の市場には此の國策を充分に反映して特殊纖維單獨にて獨特の風味をもたせたものや、最初より代用を主眼として混紡混織による模倣製品によつて埋められて居る。斯くして吾々一般消費者は之等商品の購入方法にも衣服類の取扱方法にも前より以上に末梢神経を尖らさなければならぬ。往々之が簡易な鑑別方法について質問を受けるので簡單に最近の之等の状態と鑑別法について述べたいと思ふ。

元來各種纖維の鑑別法としては定性試験と定量試験とに分たれ兩者共物理的及び化學的試験法に分割されて居る。その詳細の最近の報告については已にアメリカン・タイスタフ・レポート二月號纖維工業學會誌十一月號に掲載され纖維工業學會誌としては次號にも繼續される豫定である。従而上の内顯微鏡法、光學的方法(紫外線、偏光色による方法)等は設備を要し大衆向でない故に、亦熱法及び溶解法は詳細分別不可能なる故に之を他日に譲りて最も通俗的に行はれ易い呈色反應と溶解法とを骨子とした分析法を示せば次の如くである。

纖維定性分析

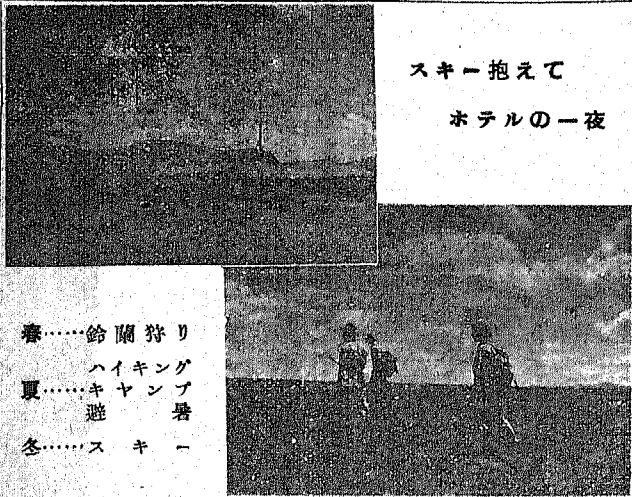
(續物性纖維と増量絲は已に燃焼試験にて) (認定されたる5%苛性加里試験)

ミロン試験: ... 赤色	苛性加里: ... 溶解	ミロン試験: ... 呈色せず	苛性加里: ... 不溶
蛋白質纖維	濃鹽酸にて15-20分間處理	纖維素誘導體	アセトンにて10-15分間處理
可溶	不溶	可溶	不溶
(絹)	(羊毛ラニター)	(纖維素、リグノ纖維素、膨潤纖維素)	(纖維素、リグノ纖維素)
	醋酸鉛を加へた苛性加里、又は苛性曹達に溶かす		鹽化亜鉛又は沃度にて處理
	黑色	呈色	呈色せず
	無色	(膨潤纖維素)	(纖維素)
	(羊毛)		(リグノ纖維素)

尙家蠶繭絲と野蠶繭絲との交織品の際には被檢體を冷濃鹽酸にて處理すれば前者は速かに溶解し、後者は著しく遅く、亦銅絲とツイストコース、レーヨンの區別としてはウイリソン法を用ひ、即ち濃硫酸を用ふれば前者溶けて黄若しくは褐色を呈し、後者は溶けて赤褐色を呈す。尙又前記定性分析表と並行して硫酸、沃度溶液、鹽化亜鉛、沃度液、ピクロカミンW等を用ひて檢すれば尙確實性を増すものと想はれる。

(1) 硫酸、沃度溶液による呈色反應
試料をスライドの上に置き第1液2-3滴を加へ少時の浸漬後に吸用し、次に第2液を加へ、その呈色を檢す。
絹 淡黄-無色
羊毛 淡黄-無色
大蠶 淡黄-無色
野蠶 淡黄-無色
リグノ 淡黄-無色
纖維素 淡黄-無色
アセトン 淡黄-無色
ピクロカミンW 淡黄-無色
銅絲 淡黄-無色
ツイストコース 淡黄-無色
レーヨン 淡黄-無色

(2) ピクロカミンW溶液による呈色反應
ピクロカミンW溶液中で3-5分間處理し、強く水洗後呈色を檢す。
絹(生) 暗褐色
絹(繭) 暗褐色
羊毛 暗褐色
大蠶 暗褐色
野蠶 暗褐色
リグノ 暗褐色
纖維素 暗褐色
アセトン 暗褐色
ピクロカミンW 暗褐色
銅絲 暗褐色
ツイストコース 暗褐色
レーヨン 暗褐色



スキー抱えて
ホテルの一夜

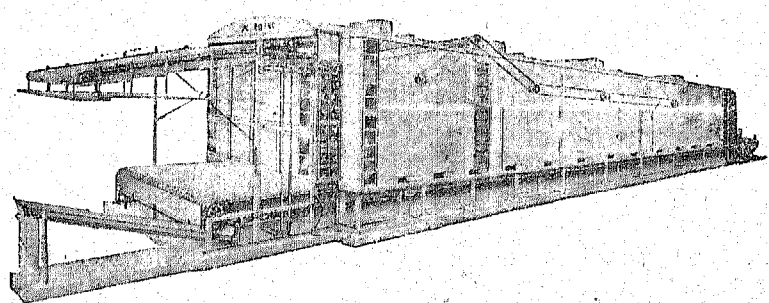
春... 鈴蘭狩り
ハイキング
夏... キャンプ
避暑
冬... スキー

ハイキングコース、キャンプ場等は御問ひ合せ下さい

千曲會指定旅館

信越線上田駅前 上村館 電話 上田 344
長野縣菅平高原 菅平ホテル 電話 菅平局 1番
長野縣菅平高原 鐵道省 山の家 電話 菅平局 呼出

現代乾繭機界ノ王座 大和式自動輸送乾繭機



二五九九年代表型

【各種型號備有】

製作發賣元

株式會社

大和三光商會

東京京橋區京橋三丁目二番地
電話 京橋 (56) 五三二〇〇
〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇

營業課目

特許大和式自動輸送乾燥機
特許大和式自動人絹乾燥機
特許帶川三式乾燥機
特許やまざり式水装置
特許サンコー式濾過淨水器
特許サンコー式廢湯吸熱器
特許サンコー式高壓ポンプ
特許サンコー式トラップ

然し以上述べた化学的呈色反応によるものは最も簡易と思はれるけれども、尙之が應用に當つては次の不確實の理由も時に考慮に入れる必要がある。

- 1 何の動物の毛であるかと決定する方法がない。
- 2 動物性繊維と、澱粉は影響する。ゲラチン同じ結晶となる事がある。
- 3 染料の残存が呈色反応を妨害する事がある。例へば硝酸根の如きは多くの染料にもあるものである。
- 4 交織物の僅か一方が溶解してもわからない。三硝素、九七硝羊毛の際の絹の溶解は影響はない。
- 5 不良質纖維や加工纖維は他の纖維の反応を示す。
- 6 ラニタール等は羊毛の反應は殆んど呈す。

斯くして正常の纖維の部局決定をなすことは誠に簡明であるけれども何時も妙くあることを約束づけることは不可能事と見なければならぬ。時に自然分解のあることも、亦人工分解のあることも考へられる。例へば蛋白質にては或特殊の成分でさへ失はれる事も、亦纖維素にては酸化、膨潤の各過程のものも往々あつて、之が鑑別も充分検討しなければならぬ。之がためには前者にはジンメルマン試験(ホルソフタール・アルデハイド試験)にしてエミール・アプデルハルデ及びアン・ネライス・ニウマン兩氏が蛋白質の上に提唱したものである。後者には小栗拾蔵氏、立木勝蔵氏等の研究によるメチレンブルー吸収率や銅價等の値が中心をなすものと考へられる。尤もホルソフタール・アルデハイド試験はその基礎が少量のグリコールとホリペチタン中に於けるその位置を確立する事であつて、純粹科學としてアミノ酸は勿論の事アミノ酸分解の中間生成物等に精細な反應を示し最も都合よく考へられる然し獨逸製なる故に取扱面倒で、而も高價のため入手困難は遺憾である。市場に於ける鑑別劑として一般に馴れたものには下記I、G社製品

- 1、ダイアミン・フィロドK G、ロイダミ
- 2、ロイダミンB、及びビスマルククアラウ
- 3、F R エクストラによる調劑試験
- 4、及びビコロカリス、ネオカリス、B

等があつたが、現在は替爲關係で入らぬものと思はれる。本邦に於ては紡織雜誌社發賣のテスカラー及び最近第一工業製藤會社發賣の染工考案の纖維鑑別劑があるから紹介して置く。此の二つの試験が

直毘の精神

(一九三九・二・一〇)

何所調劑の基礎を置くかは讀者の想像に任せるとして、時節柄先づ試みに使つて見て貰ふ事を御願ひす。現在の纖維界の動靜は日に日に新機軸を出して進んで居る。其分野も半合成纖維及び合成纖維等を附加して益々賑ひを呈して來た觀が多分にある。それによつて鑑別法にも新規方面の開拓が叫ばれて居る。酢酸纖維系、三酢酸纖維系、絹糸に對する、P C 繊維のナイロンに對する、亦大豆蛋白質の魚肉纖維に對する等の各區別法等も將來に残された必要な問題ではなからうか。

直毘とは、在を編め直すと云ふ程の謂であり、此の精神を最も鮮やかに表現したものはかの「直直」の場面であらう。「故然か爲れども天照大御神はとがめず告りたまはく、屎如すは唾ひて吐き散らすとこそ。我が那勢之命如此爲つらめ。又田の阿蘇も溝埋むるは地をあたらしとこそ。我が那勢之命如此爲つらめ。」(古事記上巻)との詔り直しに於て、吾々は缺點を補正し、長所を擴充し以て之を理想のレベルにまで曳き昇めんとする直毘愛の表現を讀み取ることが出来るのである。然るに此の直毘愛の精神が已に諸尊の禊祓と共に出現してゐるといふことは大いに注目する所である。「遂に身の所汚を盡すはまはむとして乃ら興言して曰く、上瀨は是れ太だ疾し、下瀨は是れ太だ弱しとのたまひて便ち中瀨に濯ぎたまひき。これによりて生りませる神の號を八十柱日神と申す。次に其の在を編め直すと申す。次に大直日神」(日本書紀神代卷)。固より直毘神は延喜式御門祭の祝詞や大段祭の祝詞には神直備、大直備豊磐瀛、櫛磐瀛の五神が擧げられてゐるが、其の中にも神直日、大直日二神が最も本源的なるものと考へられ、而して諸尊の禊祓には此の二神の出現を見る譯であるが、これは確かに日本の特色と斷定し得る。蓋し禊祓の風習は必ずしも日本獨特のものではなく、支那本土、印度支那、南洋諸島、アラビヤ等に於ても古くから存在したのであるが、然し其等於ては禊祓の行爲と共に直毘二神を成り立たせしむるが如きことは決してなかつたからである。而かも此の場合更に意義深く感ぜしめられることは、自覺過程の上では直日神が直ちに現れるのではなくて先づ禍津日神が出現するといふことである。カントが「悪は責任を感じる能力ある者のみが克く悪」と考へたやうに、先づ消極的自由としての悪が現れて後、始めて自覺と俱なる眞の自由が展開し來るのでなければならぬ。本居宣長は此の間の消息を傳へて「直とは未だ直からざるを直す御名なり。既に直れる意にはあらず(古事記傳)と述べたが、果して然らば直れるものを在とし、直からざるものを禍として規定する所のものは何であるか。

吾々は之を産靈に於て見出す。茲に一應斷つて置かねばならぬことは、所謂西洋宗教學の立場に於て、抽象された唯一神を以て最高の神觀となし、従つて又日本神道の神觀を以て汎神論となすが如き態度が、理論的にも歴史的にも十全なものでないといふことである。それは勿論人間を如何なる存在と見るかに依つて決定せらるる事柄であると共に、我が神々の本質を歴史的事實の裡に内面的に批判し得るに基いてゐる事柄である。従つて「産靈とはすべし物を生成するこの靈なるを申すなり」(古事記傳第三卷)と言つても、それは單なる生成の根元への宗教的逃避でもなければ論理的極限概念として主客未判の者を設定することでもなく、却つて眞に人が神を要請し、神が人に於て存在するといふこと、神と人が成るといふはれる。産靈に於て神と人が神から拾得するのではなく、人から、人と神が一致して實現せられてゐる事實から出發することに外ならない。換言すれば單に生むものは愛であるといふ丈では未だ眞の直毘愛の活動の表現とはならず、寧ろ産靈の根源に歸入し行く吾々の敬の態度に於て之が直接的に把握される時に於てこそ、直毘が一切生命の基礎である、神其物であること、了解が成立するのである。斯かる了解の故にこそ、惟神の道と雖、其處に神國の信念が活きて働いて居るのである。固より單なる理念としての神國は舊約創世紀に於ては現れて居り、その第十二章に語られたエホバのアブラハムに對する誓ひの

如き、野に叫ぶ預言者の倫理的否定に由つても猶何等止揚の力を有るを得なかつたことは人の克く知る所である。然し乍ら此の場合吾々は其の然る理由を尋ねて行くなれば、結局創世紀の原人創造やバベルの塔に見る如き神人の關係にまで遡らなければならぬのである。舊約の神が新約のそれに比して遙かに人間的なものと認めらるゝに拘らず、而も此の抽象と乖離とが蔽はれ難いといふことは果して何に基くのであるか。それは如何なる理論的迂路を辿らうともどうしても故に入世觀の相違に到達せざるを得ないであらう。即ち人は、猶太教から基督教への信仰の轉機を覓めて、漢々と放場的な風土性の巡遊に詣到する以前に、身を離して後者發生の場合に於ける現實的な政治力をも併せ顧る必要があるであらう。試みに想へ、キリストの血の償ひによつてヤーベの手をさし伸べた對象は何であつたか。それは單なる宗教上のことでは在り得ないのである。否、寧ろ眞の宗教は「己の働を持つべきであり、むすびの實踐に於て「人と神とを司牧」(崇神紀)すべきであつて、従つて神の捕捉は人の立場と同體異名でなければならぬのである。この故に宗教は單なる理論に止まるべからざるは勿論、現實の人間生活を規正するものとしての使命を持つ。否、却つて宗教を以て單なる理論に止まらしめざる根據は、現實的な人間生活でなければならぬ。此の意味に於てこそ「現實的なものは現實的なものである」(ヘーゲル)。吾々は理想と現實、普通と特殊、超越と内在、自然と歴史とをその對峙の係りに於て止まらしむることが出来ない。其等の相絶に於て超人の痛ましさを快哉する者は宗教人でもなければ又早き學人科でもない眞に深き意義に於ける「眞理性」の明證は、實に具體的な現實、普遍的なる特殊に於て見むるの外はないであらう。茲に誠に一在的なるものとして惟神の國が在り、而して又直毘展開の地盤が在る。さすれば、産むものを生みたるものに於て展開する産靈が直毘のみたまの地盤とするとも、神への人の、人への神の交感と努力とを缺くならば、未だ以て眞の禊祓が實にされたとはなし難いであらう。「誠は物の終始、誠ならざれば物なし」

(中庸)とは實に我が神人合一の入我々入に於て始めて世界に實現された神國日本の姿である。「一つ一つに我が神國の心を捉へて、弟命を親愛し思ふ事命の程見えて、甚も有りたたくこそ(古事記傳)」といふが如き敬の態度を缺いて神を見ることは絶対不可能である。人間とは個性を滅却して神に於て自己を充實し、神に命を飲することによつて神から生命を賦與される存在なのである。道の正しさ、行ひのまことさは偏へに此の絶対同歸、神人交感の場に懸つて在る。故に古語にも、當代の天皇をしも神と申して實に神に坐せ、善惡を御すへの論をひきすて、善惡を御すへの論をひきすて、善惡を御すへの論をひきすて、

<p>化學藥品 上田市原町</p> <p>化學染料 山崎山林堂</p> <p>農業藥品 電話 四一三</p>	<p>化學藥品 上田市原町</p> <p>化學染料 山崎山林堂</p> <p>農業藥品 電話 四一三</p>	<p>農業藥品 化粧品</p> <p>純良藥品 寫真材料</p> <p>三共農藥製品スズルン</p> <p>東信代理店</p> <p>上田市海野町</p> <p>合資會社 河商會</p> <p>電話 (野野野) 二二七</p> <p>八一五</p>
--	--	--

山岳スキー展覽會 講演會映畫會の記

山岳部 山口定次郎

戦時下に於ける學生の体位向上は卒業後大多數が軍の勤務に服し之に耐え得ねばならぬ必要上からも又戦後にあつて何人も前も仕事に服さねばならぬ必要上からも最も積極的にならねばならぬと思ふ。今やハイキングも夏山もそのシーズンに終つたが、それ等の他凡ての運動によつて既に減られた肉體を、沈滞の冬に於いて炬燵の中やナマにしてはならない。それ所が張切つた若人の肢體の夜鳴り正に來るべきシーズンのスキーによつてのみ満足を得られるのではなからうか。然し乍ら之等スポーツの旺盛を願ふと共に、そのスポーツに對する正しい認識をもたねばなるまいと思ふ。精神に於て、技術に於て、用具に於て、その使用法に就て將又危険防止等に就て夫々の知識をもつことは何れの場合にも肝要の事であると思ふ。

こんな意味合から吾等校友會山岳部は機熟し折良く希望が叶へられて、完全といふまでにはいかないが、今秋千曲會代議員會の日を中心として第一回山岳、スキー展覽會、講演及映畫會を左記により華々しく開催した。その模様は次の通りである。

期日 十一月二十日—二十六日

但し映畫と講演會は二十五日夜

會場 養蠶室(甘茶展も開催)

第一室 ハイキングの室
ハイキングに關する知識を地圖、表、寫眞、書籍、圖、パンフレット等で示し、又リユクサツク、テント、食物等其の他一切の用具等を陳列した。

第二室 夏山の室

正面に山小屋の室がある。室外には目前に槍岳が聳え、左手の彼方に錫杖や笠岳が雪を頂いてゐる。槍の後方には美しいアロツケン、俗に山の怪(光像)が寫つてゐる。パノラマである。山小屋(ヒュッテ)の中には夏の用具が一切並べられてゐる。ゾボナカヒの毛皮の上や、犬皮のズボンもシツクリとうつる。鋸、鉋、水斧(ビッケル)、ザイル(岩登用綱)等もある。岩登りの用具、説明圖、寫眞もある。

第三室 オリジナル冬期競技の室
大多數馬場忠三郎氏の出品で一九三

六年ドイツのオリジナル冬期競技に出場した土産品で當時の服装(切)フレスコ、コート(他)雑誌、ボス切、其の他数々。吾等山岳部の選難、補助の賞状や賞品、又優秀の大カツマ等陳列された。更にライテウやヤマゲタチガランコウランやヒメシヤクナ等の動物植物も高山の氣分を添えた地圖そのまゝを立体化した日本アルプスの模形もある。吾等上田山岳部ニツテの案内生活もスケッチによつて畫かれてゐる。

第四室 スキー室
入るからに寒い感じのおこる望である。正面に山岳寫眞で有名な柴崎高陽氏の大型の(三尺×四尺五寸)スキーヤストツクの林である。ダウンスキ、スキー、山スキー、夏山スキー、レス用ジャムプ用等又芝、砂、スキー等凡ゆる種類のスキーとストツクが在る。用材や形式にも種々あり、ビンディング(縮具)の種類も色々あり、スキーの製造工程、ソール、スキー服装等の外に技術の寫眞等多數特に目を惹いたのはスキー制動用と寫眞である。新しいものだけに珍らしい。

映畫と講演會(二十五日(土)夜) 講演
一、講演(約一時間)
夏山の思出 井上柳梧先生
冬山とスキー 馬場忠三郎氏

吾等校長先生は日本アルプスに行けば案内人仲間とその名が知れ互つてゐる程の山の猛者である。講演は二つ共前年の外國の山の思出から日本の山に移り又山の因んだドイツ語の詩が朗讀され、日本の山の詩が朗讀されるといふわけに校長といふ上下を外した人井上柳梧先生を見て下さつたことはいふまでもない。

馬場氏は人も知る山とスキーの名士である。嘗て開闢の大恩人ともいへ様。去る一九三六年のドイツ冬期オリジナル大会に出場された程世界的にも有名なスキー選手に對する心構へ迄も語られて得る所多大であつた。

二、映畫(十六分)
映畫の種類はスキーの誕生、眞夏のスキー、岩は呼ぶ、聖山、フォツクスハチンゲ、新しいシニプール、櫻咲く頃

等、何れも簡単に得難いもので、作品は小型映畫の權威者今泉正路氏(東京)の力作を主とするものである。

十一月の終りにしては珍らしい暖かさに恵まれて聴衆、歡衆も四〇〇人余、町の人々、學生、職員方、スキークラブの

その道の女人も澤山見えて盛會であつた。然し豆スキーの來臨には閉口した。擬議つて今回の山岳、スキー展、その他の催しは何れも吾等部員と共に學校全體では町の人の爲になつたものであらうか。それは測るこの出来なつたものではある。然し之れが開闢の爲には井上校長先生や元教授(生徒主事)の御理解と獎勵により又北村、小川君等をはじめ山岳部諸君の献身的努力と共に會計課令井輝雄氏の絶大な指導と助力にまつ所が多い。後援は上田スキークラブに願つたが特に馬場氏には貴重品の貸與から催しの全般に亘つて多大の御後援を願つたことを茲に厚く御禮申上げねばならぬ。考へれば單なる山岳部だけでは恐らく何れも出来なかつたであらうと驚く。

今後、校友會の他の各部に於てもその規模や形式は別としてこんな意味合から一般へも各部の認識を深めて頂ければ自他共に有益ではあるまいと思ふ。(一一・二七)

滿洲國公立學校教職員
募集さる

先般全國民生部次長かな母校校長宛標題の件に就き應募勸誘依頼状があつた。之には大體右の如き採用公告があつた。若し御希望の者があれば詳細は母校教務課宛問合せられ。

採用銓衡公告
滿洲帝國日系教官
募集人員 初等學校教師約二〇〇名、中等學校教師一五〇名(農科、日語課四〇名外)

應募資格 初等學校教師は實業學校、中等學校卒(又は見込)廿五才以下、中等學校教師は專門學校以上卒、廿五才以下

應募期間 來年一月十五日迄
銓衡方法 第一次書類、第二次體格人物銓衡場所 二月中に福岡、鹿兒島、廣島、高松、松江、京都、名古屋、長野、金澤、東京、山形、仙臺等
講習訓練 採用者は二月新東京中央師道所で訓練(寄宿舎に收容、手當八〇圓)待遇 (中教)師道學校國民高等學校等に任用八〇圓以上(專卒)四割の職務手當十月乃至三月俸給一、二割の各期手當賞與は四ヶ月分以上、恩給制度もあり

代近蠶絲業發達史

前農林省 蠶業課長 明石弘著 新刊好評

定價五圓五〇錢 送料三三錢

我々の蠶絲業は明治中葉以後文字通り飛躍的發展を遂げ、東亞の斯界に君然し其の市場に覇を唱ふるに至つた。研究の辛勞が積まれて來た。茲を以て、我が蠶絲業を正しく認識し、堅實なる選進を企圖し、或は將來の發展を圖らんとするものは、須らく先づ其の推移の跡を究むべきで、當に本書こそ之が無二の典據である。斯界の爲に寄せられたる蠶業體験の記録で、あらゆる事實に透徹せられる著者が、斯界の歴史を体験して、あらゆる研究の實績を、近時於ける蠶絲業の浮沈の關係を、蠶絲業發達の道程と之に關する政策を最も如實に描き出した空前的快著である。蠶絲業關係の各位には、是非御一讀を切望して止まない。

裁桑學通論

上田蠶專教授、農學博士 遠藤保太郎著

菊判洋布五〇四頁、挿畫七二圖 定價三圓八十錢、送料三十三錢

現下に即應した最も進歩的な桑樹栽培の學理とその應用を遺憾なく解説された斯界の至寶版。

土壤學通論

岐阜高等農林學校教授 松野孝雄著

菊判洋布三三〇頁、挿畫九三圖 定價三圓五十錢、送料二十一錢

最近躍進的發展を遂げた土壤學に關する幾多の學說を提へ、開然する處に詳しく詳述された最も新しい指導書。

乾燥論

東京高蠶教授 鈴木三郎著 定價六〇〇錢、送料三三錢

乾燥作用並に乾燥装置の基礎的概念の解説、生繭の取扱より貯繭に至る原料繭保全の全工程に亘り剩す處なく説いてゐる。

養繭論

上田蠶專助教授 萩原清治著 定價三〇〇錢、送料一一錢

繭論、養繭に必要な諸項目、繭の解舒、養繭前處理法、養繭法性質を異にする繭の養繭法、外2

解剖學講義(上)

田中義磨著 價八〇〇錢 送料三三錢

蠶體生理學

板谷健吾著 價五〇〇錢 送料三三錢

蠶病學(上)

板谷健吾著 價四〇〇錢 送料三三錢

蠶病學(中)

板谷健吾著 價四〇〇錢 送料三三錢

著吉房川中 授教蠶東

製 法 九料送 〇五。一價定

發兌

東京市神田區錦町一 振替東京一三一九〇 明文堂

母校ニユース

國民精神作興に關する詔書讀式 十一月八日午前八時五十分より講堂に於て國民精神作興に關する詔書讀式が舉行された。

蕭生教授講演 山形縣上ノ山町に於て十一月七日より四日間亘り開催された大日本蠶絲會主催蠶絲講習會の席上に於て蕭生教授は八、九日二日間講師として「桑と蠶」と題し講演され官民技術者の好評を博した。

談話會例會 十一月十日及び十七日午後四時より例の如く千曲會館に於て例會が開かれた。演題及講師次の通り。

蠶絲科職員チーム卓球戦に勝つ 卓球に於ては校内屈指のメンバーである蠶絲科職員若干名に他科より二名加はつた母校チームは十一月十一日(土)蠶絲試験場上田支場に遠征し蠶絲試験場、蠶絲取締所の聯合軍と卓球戦をなし左の戦績で大勝した。

御親閱拜受紀念聯合演習に参加す 枯し吹荒ぶ信濃原頭にて學徒四千は南北に別れ御親閱拜受を紀念とする聯合演習が十一月九、十、十一の三日間に亘り展開され信濃原頭の意氣は上にも高揚した。

母校からは三年生五四名が北軍獨立中隊として参加、職員は校長先生を始め行元、志賀、小山の諸先生であつた。 第一日 午前七時校庭集合、校長先生の訓辭ありて後八時六分發下り列車にて明科に向ふ。十時半同驛着、これより行軍し穂高町通過午後四時堀金小學校到着直ちに戰闘状況に入り同校に宿泊す。

て南信學徒及び松高生より編成された南軍と遭遇戦展開する二時半休戦となり續いて戰闘の第二段階に入る。 此處より行軍三里の後某地に陣地占領し午後八時同小學校にて宿泊す。 第三日 午前四時半起床、昨夜占領せし陣地に據り拂曉戦を行ふ、同六時半終了、直ちに松本練兵場に集合し午前九時より統監部、知事並びに團長官の開兵及び分列式あり。

午後二時二十六分松本發列車にて歸校の途に向ひ午後六時營の歌も高らかに校門に入る。 此の三日間の演習を通じて統監部に行き管だつた校長先生には自ら第一線に立ち勞苦を學生と共にされたことは一同深く感激した。

佐藤利一教授母堂御逝去 佐藤利一教授御母堂(八十二才)にはさしたる御病氣でもなかつたが御老衰にて十一月十二日永眠された、謹しんで哀悼の意を表する次第である。

令旨奉讀後核發國防國民運動 十一月十七日、令旨奉讀後核發國防國民運動に關し母校にては次の行事を実施し其の主旨を貫徹した。

一、皇后陛下より賜りたる令旨捧讀 二、衛生講話 森 校長 三、訓示 校 長 四、校内外の清掃 各教室、圖書室、倉庫等を夫々監督と共に分擔生徒之をなす。

級對抗辯論大會 十一月十八日(土)午後一時半より講堂に於て級對抗辯論大會を開催した。辯士皆あふる、ばかりの元氣にて熱辯をふるひクラスの代表者として面目躍如たる所があつた。午後三時半盛會裡に終了した、優勝者左の如し。

局下養蠶法の眞髓」と題し講演され一般聽衆に感銘を與へた。同地同窓會員は、この蕭生教授の講演は前例のない好評で「蠶絲業界の國策的存在である」とまで賞讃され感佩無量であつたと述懐した。

米田實氏講演 本年度第三回日本文化講義には東京商大講師法學博士米田實氏が「ヨーロッパ戦争と日本」と題し二十日午前十時五十分より三時間に亘り講演され、ヨーロッパ各國と日本の關係を具體的に話され一同得る所大なるものがあつた。

與教授講演 與教授は須坂地方職者の招聘に應じ十一月二十六日須坂町公會堂に於て上高井郡養蠶實行組合大會の席上に於て「生絲の新規用途に就いて」と題して講演された。其の斬新なる内容には聽衆を驚かす所あり好評を博した。

稲田勇樹氏講演 各科三年生の特別講義たる植民講話は全國養蠶業組合聯合會長男爵稲田勇樹氏に依り十一月廿一日午後三時、翌日午前三時、第四教室に於て行はれ、大陸研究、進出氣運の折柄生徒として非常な感激に酔はせた。

山岳講演と映畫の夕 十一月二十五日午後五時三十分より講堂に於て山岳講演と映畫の夕が催された。聽衆は階上階下共立錫の餘地なきまでに埋め盛んであつた。當日のプログラム次の如し。

甘茶美術展覽會 アマチュア作品を集めて催された居る母校内の甘茶美術展覽會が十一月二十三日より六日間蠶絲室に於て開かれた。昨年より出品数は稍減少したが實質的にははるかに向上した。出品者は次の如し。

井上柳樹(四點)、石倉新十郎(三點) 寫眞之部 井上柳樹、小林敏(各五點)、町田博(四點)、瀧澤捷伊予、大塚友規(各三點)、宮坂收、今井輝雄、瀧川泰夫、飯田國藏、牧野徳太郎、青木實造(各二點)、野口新太郎、清水運策、細川豊(各一點)。

母校關係者の戦死英靈供養祭 前記武運長久祈願祭の後、昨年假に建立された母校關係者の今事變殉國英靈供養塔前に整列、別所常樂寺僧侶の讀經を以て名譽を擔つた英靈を供養した。

母校關係者出征將士の武運長久祈願祭 十一月廿三日の同窓會代議員會開催され十一月九日講堂の玄關前に假に設けられた午前九時講堂の玄關前に假に設けられた神壇に對し參集代議員、母校職員、生徒一同整列して卒業生、母校職員、傭人、生徒等にして今事變の爲應召或は現役に前線或は後方に活躍せられる將士の武運長久祈願祭を行つた。

國民總動員實行委員會生 文部省から大學、高等、専門學校に於ける國民精神總動員の強化徹底を企る實踐機關を各學校に設けられたとの通牒があつたが母校では已に事變下職員生徒申合會なるものを組織し實行して來てゐたので、之を更に本格的に次の如く組織化し、實行委員會と稱し益々其の完璧を期することとなつた。

國民精神總動員上田蠶絲專門學校實行委員會規程 國民精神總動員ノ趣旨ヲ體シ時難克服ノ爲學校一致盡忠報國ノ誠ヲ實踐ニ移セントスルニ由ル 國民精神總動員ノ趣旨ヲ體シ時難克服ノ爲學校一致盡忠報國ノ誠ヲ實踐ニ移セントスルニ由ル 一、本會ハ國民精神總動員上田蠶絲專門學校實行委員會ト稱ス 二、本會ノ事務所ハ本校本館内ニ置ク 三、本會ハ國民精神總動員運動ノ趣旨ヲ本校職員、學生、生徒ニ透徹具現セシムルヲ以テ目的トス 四、本會ニ左ノ役員ヲ置ク 1、委員長 校長ヲ以テ之ニ充テ本會ヲ總括スルモノトス 2、委員 養蠶、製絲、絹紡、各種科長及教授一名、教務部長一名、庶務部長一名、會計、圖書各課長ニ校長之ヲ委嘱シ校長ノ諮問ニ對シ且ツ意見ヲ具申スルモノトス

3、幹事 事務職員中ヨリ校長之ヲ委嘱シ本會ノ事務ヲ掌ルモノトス 四、本會ハ會計ニ就テハ別に定ムル所ニ由ル 五、本會ハ毎月一回以上會議ヲ開クコトアルベシ

附則 校會規程ハ昭和十四年十一月一日ヨリ施行ス 以上

大陸研究の直進會生 興亞の精神を指導精神とする研究會を作る豫文部省は各學校に呼びかけてゐるが、母校でも今夏興亞青年學徒勤勞報國隊に参加し親しく大陸の土を踏み風を嘗つて來た生徒を中心に、興亞精神と大陸研究を一般生徒に普及徹底せしむべく學生課が授産役となつて直進會なるものを設立した。

上田蠶絲專門學校直進會々期 一、本會ハ上田蠶絲專門學校直進會ト稱ス 二、本會ハ直進ノ精神ヲ基調トシ大陸研究ヲ以テ目的トス 三、本會ニ左ノ役員ヲ置ク 校長ヲ以テ之ニ充テ本會ヲ統轄 指導スルモノトス 顧問 各科教授中ヨリ會長之ヲ委嘱ス 理事 生徒主事及各級總代ニ會長之ヲ委嘱シ事務ヲ掌ルモノトス 以上研究會ヲ開成スルヲ毎月一回

山田講師榮轉 昨年五月から製絲科に副手兼講師として勤務、教養養成科生徒への講義の傍茨原助教の研究を助力してゐた山田良人氏(綽一八)は今回長野縣農林技手を拜命長野縣蠶絲製絲工場課に勤務することとなり母校を退職して十二月三日に赴任した。同氏は野球、卓球庭球に練達し大いに活躍したし、千曲時報の御手傳ひも願つた。益々御活躍を望む次第である。

牧野久氏退職 製絲科教習牧野久氏は家事都合上十一月六日付を以て退職された。在職期間は昭和二年卒業以來今日に至り十二年八月の長期に及び製絲講習に或は先生方の研究の助手に良く盡された。

林教授歸朝

最近価格は稀に見る高騰を続け、穀類業者をして狂喜せしめると共に、國際債借上甚大なる役目を果しつゝある折柄、歐米に於ける生絲消費状況の並に一般絹業、合成繊維業等の將來を打診するの抱負を持たれて去る六月一日横濱出帆の鎌丸倉にて渡米の途に就かれた母校林貞三教授には六月二十五日紐育着以来、其所を據點として寸暇もなき視察調査をされ生憎歐洲戰亂の爲に渡歐の機會を失はれたが其の餘力を更に米視察に費され、多彩且つ詳細なる調査を完了し、充分なる收穫を得られて十二月四日横濱着のサントス丸にて目度歸朝されたのである。

林教授歸朝談

此の度私は皆様の御配慮により海外出張の機會を得ましたが中途歐洲動亂の爲渡歐出来ず又未熟の爲御期待に添ふ視察も出来ず甚だ申譯なく恐縮して居ります。六月一日横濱を出航しハワイに寄航し桑港に上陸、ヨセミテ、ロサンゼルス、グランドキャニオン、シカゴ、ナイアガラを経て六月二十五日紐育に着きました。紐育在同胞及び生絲輸出商の御配慮と農林省紐育事務所の植田所長の御厚意により農林省紐育事務所の一室を拜借し日常の本據とし宿をホテルから百町目ウエストエンドのアパートに定めました。七月に入りバタソン、ウルクスバールを中心とする北部米國の絹業を十日間程視察し八月にはサウスマンチスター、レディング、ヒヤデルヒヤを中心とする中部米國地方に前後十二日間出張し九月にはアトランタ、チャトラガを中心とする南部米國の絹業を十日餘り視察旅行し十一月五日紐育を立つてニューオールレアスに出で綿業、エルバツンの絹業を見てロサンゼルスに出で大阪商船の南米より歸航したサントス丸に乗つて十二月四日横濱に歸航致しました。在米五ヶ月の短期間の旅行であり且つ未熟の爲私的觀察は正鵠を失して居るか

も知れません。此の點御諒願つて置きたいと思ひます。申す迄もなく日本と米國とは人種も異ひ、社會組織も違ひ、經濟力、文化の程度も甚だしき懸隔がありまから日本の物差で測定することは正しい見方でないと考へます。

米國の絹業は織物方面が年々人絹に浸食され消費を減少しそれに代つて絹靴下が益々増産され消費を増大し本年は七〇%が此の方面に消費されるのであります。何故に織物方面が減少するかと申しますと流行の變遷に應ずるに絹が高價で人絹が安價の爲と考へられます。然るに靴下の方面は一足二オンスと云ふ如き大變生絲量の少ないものでありますから一足一オンス以下で安く手に入る事が出来ません。勿論現在の織維類の中では絹が最も適當であつたからでありますし又現在絹織物に使はれて居る方面も絹でなければならぬ方面に使はれて居ると解して良いと思ひます。

例へばベルベットの如きは地が絹で毛が人絹を使用して居りますがそれは毛を擦附けるに絹でなければならぬのであります。

靴下は本年製造高四千二百萬ダズンで米國の人口約一億中、女が五千萬として子供を除き絹靴下を用ひるものが三千万人として一ヶ年に一、四ダズン使用する譯で乞食まで絹靴下を使用して居る程徹底して居るのであります。

輸入生絲價格は昨年一億弗之れを成品にして六億弗厚ち廿五萬人の直接關係者を持つ重大な産業であります。

此の點が通商條約廢棄されても生絲貿易に重大な變化はないだらうとされる點であります。但し此の條約が廢棄されれば生絲の輸入に對し一割の課税をされる事になるのですが之れは米國が負擔するのから日本が負擔することになるか不明です。然し米國船が持つて行けば課税されぬことになつて居りますから要は船會社の問題となるのであります。

兎に角こんな大きな産業に對し代用品の研究が行はれて居るのは當然のことでありましてナイロンの出現は凡ゆる方面から注目された譯であります。ナイロンは今年に入り一日十貫位から今日では五十貫位宛一日に試験的に製出され、その製品化に研究が續行されて居ります。注目すべき點はナイロンなるものが生絲を目標に現はれたものであるから生絲の代用が出来ぬとすれば價値の少ないものなる程高價でありませぬ。只今靴下は五百ダズン位宛一日に生産されて居ります。強力が強く、弾性が有り而かも軟かく、表面が滑かくて耐水性的のある絹でありませぬ。従つて撥が戻り易い、編む場合に伸び易い點が絹と異ふ點で之れを除く爲にサイゲングの研究、ポテンダグの研究が行はれ最近出來るものは面目を一新しつゝあります。

それでも尙幾多の相違があるのであります。勿論現在の織維類の中では絹が最も適當であつたからでありますし又現在絹織物に使はれて居る方面も絹でなければならぬ方面に使はれて居ると解して良いと思ひます。

例へばベルベットの如きは地が絹で毛が人絹を使用して居りますがそれは毛を擦附けるに絹でなければならぬのであります。

靴下は本年製造高四千二百萬ダズンで米國の人口約一億中、女が五千萬として子供を除き絹靴下を用ひるものが三千万人として一ヶ年に一、四ダズン使用する譯で乞食まで絹靴下を使用して居る程徹底して居るのであります。

輸入生絲價格は昨年一億弗之れを成品にして六億弗厚ち廿五萬人の直接關係者を持つ重大な産業であります。

此の點が通商條約廢棄されても生絲貿易に重大な變化はないだらうとされる點であります。但し此の條約が廢棄されれば生絲の輸入に對し一割の課税をされる事になるのですが之れは米國が負擔するのから日本が負擔することになるか不明です。然し米國船が持つて行けば課税されぬことになつて居りますから要は船會社の問題となるのであります。

兎に角こんな大きな産業に對し代用品の研究が行はれて居るのは當然のことでありましてナイロンの出現は凡ゆる方面から

歸朝御挨拶

謹啓時下寒さ烈しき折柄各位には益々御健勝の段奉賀候。陳者小生去る六月海外出張を命ぜられ候に就ては母校職員並に同窓各位の格別なる御配慮に預り誠に有難く厚く御禮申上候御蔭にて六月一日横濱出航以來全く健康にて米國に於ける視察を終り得候へ共歐洲動亂の爲に歐米も無く恐縮に存居候。出張中は特に在米同窓各位に於かかれては業務多忙中にも不拘周不到御便宜と手厚き御慰問に御礼申上候。在米中業務滞積し居り未だ御無沙汰致し居候次第に御容被下度願上候。無事歸朝の通知を兼ね失禮乍ら本紙上に敢て御事歸朝の通知を兼ね失禮乍ら本紙上に敢て御事歸朝の通知

十二月十五日 林貞

轉任御挨拶

謹啓時下愈々御清適之段奉賀候。陳者私儀長野縣農業試験場上田支場在勤中は公私格別の御交誼に預り有難奉謝候、今般不圖地方農林技師を拜命長野縣農業試験場勤務に相成候間今後共不相變の御指導御鞭撻賜度奉懇願候、先は不取敢乍ら略儀御挨拶申上候。昭利十四年十一月

長野縣農業試験場 山崎 壽

轉任御挨拶

謹啓 寒氣日に増し相募り候處愈々御清適之段奉賀候。陳者小生上田蠶絲專門學校在職中は公私多大の御愛顧を賜り難有衷心を命ぜられ候就ては今後共尙一層の御指導御鞭撻の程奉懇願候。先は不取敢以寸楮御禮申上候。昭利十四年十二月

長野縣蠶絲工場課 山田 良人

信濃教育用品株式會社 サトウ商店

運動用具、理化器具、度量衡器、は弊店へ

カルニール顯微鏡、山田體育機械、日本出版、森本、長野縣代理店

東京本店 電話日本橋(三)三番
長野支店 電話二七三四番
上野支店 電話一四一番
篠井支店 電話五七三番
松本支店 電話三三三番

本會記事

本會日誌

十一月十一日 理事及參事會開催代議員會提出問題議案

十一月十四日 第十三回代議員會招集狀發送

十一月十五日 向上資金送納方各支會長(依順)

十一月二十二日 監事會開催本會經理を監督す

十一月二十三日 第十三回代議員會開會す

十一月二十八日 重任に可決したる本會役員に對し其の旨通告す

十二月一日 上田實(絲廿五)逝去せらる電報にて弔意を表す

十二月四日 故竹村中和、故成澤榮一兩氏の御遺族へ有志弔慰金贈呈す

針塚長太郎先生謝恩 (第六回) 記念資金申込報告 (日現在)

金拾貳圓也 小山 清
累計金壹萬〇五百貳拾四圓也

針塚長太郎先生謝恩 (第九回) 記念資金受領報告 (日現在)

金拾貳圓也 小山 清
累計金壹萬〇參百九拾貳圓也

内田先生記念品贈呈 (第六回) 資金報告

金參圓也 小平 光雄
金貳圓也 中村 守太
金壹圓五拾錢 手塚 勇
金壹圓也 山崎 保太
金五拾錢也 一之瀬 茂
黒澤 義彦
中木 武
網井 幸次
延命 三郎
勝田 清三
楠森 定雄
岡島 忠夫
宮城 忠夫

右合計金拾八圓五拾錢也
累計金貳百七拾七圓五拾錢也

會費領收 (十二月五日現在)
昭和十四年度會費金四圓也

昭和十四年度會費金四圓也

中島 眞(蠶三) 小松 茂男(蠶三)
清水 英人(蠶三) 有間 正久(蠶三)
長倉 重藏(蠶八) 酒井 五三(蠶三)
大塚 重藏(蠶八) 湯澤 千幸(蠶九)
土屋 安治(蠶三) 山崎 保太(蠶三)

入會金納入者
完納者 土屋 安治(蠶三)
金拾圓也 長倉 重藏(蠶八)
千曲會准會員會費納入者(金八拾錢也)
昭和十三年度分 高橋よし江(舊教)
昭和十四年度分 高橋よし江(舊教)
昭和十五年度分 高橋よし江(舊教)

叙任辭令

現職員之部
叙正六位 從六位 松岡重三郎
叙正四位 從四位勳三等 大瀧昭太郎
叙正四位 從四位勳三等 久野 久
叙正四位 從四位勳三等 久野 久

幸養生之部
六級停下賜 地方農林技師 上原 清夫
長野縣農林技師 山崎 壽
地方農林技師ニ任ス 高等官七等特選
長野縣農林技師ニ補ス 小林 茂雄
東京府農林技師ニ補ス

上飯島商店

御來田のお土産は...
みず饅頭 上のフルーツ
杏羊羹 栗羊羹
信濃そば クルマ羊羹
米煎餅 果物類 雑結

上田市松尾町
電話(長)二六〇
(販賣部)三五四

上田名物

くろみまんぢう
くるみ最中
くるみ羊羹
御みやげに!
御贈答品に!
上田市松尾町
鹽川總本家
電話二十九番

七久里會を開く

昭和十五年の新春を後日に迫りました。恒例により千曲會員の七久里會(第六回)を開きます。
一、一年振りに上田の知人や先輩等を訪ね新年の挨拶に見えらる人々の爲に
一、郷里を上田近にもち多々の會員に逢ひたい人の爲に
一、クラス會を開き度い人々の爲に
一、一年中の悲喜苦樂や新人生觀等を語り會ひ度い人々の爲に
一、新しい計畫樹立の爲縦横の連絡を取りたい人々の爲に
一、時局下に於ける蠶絲業の認識を新にし確實にせんとする人の爲に
左記により自由な會合と致します。
例年共五〇人近くの諸兄が集まりました。紡、絲、蠶の科別はありませぬ。先輩は後輩の爲に後輩は先輩に教を乞ふ爲に何卒奮つて御參會の程御待ちしてあります。
記
時 昭和十五年正月二日午後三時頃より
場所 別所温泉 花屋ホテル
會費 一、八〇錢内外
申込 上田蠶專官舎内山口定次郎宛
十二月五日 七久里會幹事

香青軒

御會食に 御宴會に
レストラン
明かな洋室 落付いた
和室 (數室)
上田市袋町 電話13番

千曲會指定旅館

別所温泉
花屋ホテル
電話 三一三番
柏屋別莊
電話 一二番
茶代廢止
御宿料二圓

信濃路の旅に!

善光寺詣りに!
母校訪問の折に!
清流千曲川畔
戸倉温泉
千曲會指定旅館
笹屋ホテル
電話 戶倉 一〇三番 別莊 一〇番
上田 三四番 別莊 七番
東京出張所 下谷(83) 六六四五番

御入信の節は

何卒御光來を!
上山田温泉
千曲會指定旅館
清風園
電話 上山田代表 五六番
戶倉 一三六番
別館電話 上山田 一四番

御靜養には
感じの好い別莊を

北陸千曲會例會記

本年の北陸千曲會の總會は當番縣石川が全部一任されて東洋一の仙鏡湯涌温泉で開く事になった。日柄は十月十七日新嘗祭の佳き日を選んで特別本部から蒲生理事長の御出席を煩し一同は切切つて集つたのが下記十六名である。...

北信支會總會

北信支會總會は毎年紅葉の候戸倉か上山田で催されるのが恒例である。本年も十一月三日明治館の佳き日戸倉の笹屋ホテルで開催した。...



三閣下を迎へての 兵庫千曲會總會

山崎 筑摩

待ちに待った恒例の我兵庫千曲會本年の總會は、秋も半を過ぎた十一月十二日のより先今日の總會には本部より來賓として...



石の寶殿

「石の寶殿」は伊保驛より北方約十二丁の處にあり、神代の昔、大己貴命、少彥名命の二神、天の磐舟に乗りて此地に降り給ひ一夜のうちに五十餘丈の岩を切り...

廣い播磨平野には、加古川、市川等の諸川が貫流し、山陽道は殊に被害甚大と云はれるに幸にもこの邊は千曲甚り逃れ、見渡す限り黄金の波を漂はし豊作の秋を稱へて收穫の眞最中である。...

【寫眞は總會當日の記念撮影である】

會員動靜 (十二月五日)

Table with columns for member names (e.g., 登坂 忠吉, 八木 誠政), their addresses (e.g., 新潟縣北蒲原郡新田町竹町), and their phone numbers.

喪中に付年賀欠禮仕り候

- List of names and their affiliations: 須田圭二 (上田蠶絲專門學校), 志賀章雄 (上田蠶絲專門學校), 湯原諄 (上田蠶絲專門學校), 小林尙一 (上田蠶絲專門學校), 塚田典次 (上田蠶絲專門學校), 笠原正巳 (笠原組上田工場), 都丸清治 (群馬蠶業取締所).

戰地通信

阿形一三氏より
中支の秋の姿は勿論内地殊に信濃の紅葉とは凡そ異つて居ります。かへての如きは見られず、イボタキ、檜、樺、栗等やアカシヤ等の紅葉が見られます。

の如き方法で育蠶します。

を防止、又温度の變化を調節します。熟蠶は木の小枝で立て、上層を逆にして風を廻らして風を防止、又温度の變化を調節します。熟蠶は木の小枝で立て、上層を逆にして風を廻らして風を防止、又温度の變化を調節します。

喪中に付年賀欠禮仕り候
昭和十四年十二月十五日
朝鮮京畿道原蠶種製造所内
藤崎 鑽
住所 京江線素砂驛外原蠶官舎

十月通信
羽藤泉、山村泰三、吉池松五、郎、鈴木英夫、矢野進
福永雄三、田澤輝雄、大野孝治、千葉一雄、上木忠士、清水、北村忠太郎

Table with columns for names (e.g., 遠藤 榮一, 武藤 寛一), their addresses (e.g., 鎌倉市), and their affiliations (e.g., 鎌倉市).

久保田昌人 上海九江路五〇號 三井銀行ビル二階 華中蠶絲株式會社 上海北四川路 長春路棉花莊

市川信一 喪中(祖母)に付き 年始の賀辭欠禮仕り候 昭和十四年十二月 農林省蠶絲試驗場綾部支場

磯部鐵雄 喪中(祖父)に付き 年始の賀辭欠禮仕り候 昭和十四年十二月 上田蠶絲專門學校

市川信一 喪中(祖母)に付き 年始の賀辭欠禮仕り候 昭和十四年十二月 農林省蠶絲試驗場綾部支場

磯部鐵雄 喪中(祖父)に付き 年始の賀辭欠禮仕り候 昭和十四年十二月 上田蠶絲專門學校

久保田昌人 上海九江路五〇號 三井銀行ビル二階 華中蠶絲株式會社 上海北四川路 長春路棉花莊

市川信一 喪中(祖母)に付き 年始の賀辭欠禮仕り候 昭和十四年十二月 農林省蠶絲試驗場綾部支場

磯部鐵雄 喪中(祖父)に付き 年始の賀辭欠禮仕り候 昭和十四年十二月 上田蠶絲專門學校

故大名 昇氏弔慰金 金貳圓也 篠田平三郎 故成澤 榮一氏弔慰金 金貳圓也 磯部鐵雄

故副田 好美氏(絲廿一) 故上田 俊夫氏(絲十九) 故上田 實氏(絲廿五)

故副田 好美氏(絲廿一) 故上田 俊夫氏(絲十九) 故上田 實氏(絲廿五)

故副田 好美氏(絲廿一) 故上田 俊夫氏(絲十九) 故上田 實氏(絲廿五)

故副田 好美氏(絲廿一) 故上田 俊夫氏(絲十九) 故上田 實氏(絲廿五)

故副田 好美氏(絲廿一) 故上田 俊夫氏(絲十九) 故上田 實氏(絲廿五)

故副田 好美氏(絲廿一) 故上田 俊夫氏(絲十九) 故上田 實氏(絲廿五)

故副田 好美氏(絲廿一) 故上田 俊夫氏(絲十九) 故上田 實氏(絲廿五)

故副田好美氏弔慰金 金拾圓也 滿洲千曲會 金壹圓也 荒木 喬 山寺 豊一

故副田好美氏弔慰金 金拾圓也 滿洲千曲會 金壹圓也 荒木 喬 山寺 豊一

故副田好美氏弔慰金 金拾圓也 滿洲千曲會 金壹圓也 荒木 喬 山寺 豊一

故副田好美氏弔慰金 金拾圓也 滿洲千曲會 金壹圓也 荒木 喬 山寺 豊一

故副田好美氏弔慰金 金拾圓也 滿洲千曲會 金壹圓也 荒木 喬 山寺 豊一

故副田好美氏弔慰金 金拾圓也 滿洲千曲會 金壹圓也 荒木 喬 山寺 豊一

故副田好美氏弔慰金 金拾圓也 滿洲千曲會 金壹圓也 荒木 喬 山寺 豊一

故副田好美氏弔慰金 金拾圓也 滿洲千曲會 金壹圓也 荒木 喬 山寺 豊一

優良蠶種案内 昭和十五年度春蠶種 X分離白一號 絲質特優

優良蠶種案内 昭和十五年度春蠶種 X分離白一號 絲質特優

優良蠶種案内 昭和十五年度春蠶種 X分離白一號 絲質特優

優良蠶種案内 昭和十五年度春蠶種 X分離白一號 絲質特優

優良蠶種案内 昭和十五年度春蠶種 X分離白一號 絲質特優

優良蠶種案内 昭和十五年度春蠶種 X分離白一號 絲質特優

優良蠶種案内 昭和十五年度春蠶種 X分離白一號 絲質特優

優良蠶種案内 昭和十五年度春蠶種 X分離白一號 絲質特優

編輯室より 昭和十四年にも間もなく去る。回顧すれば今年程世相の變遷の激しかった年はない。

編輯室より 昭和十四年にも間もなく去る。回顧すれば今年程世相の變遷の激しかった年はない。

編輯室より 昭和十四年にも間もなく去る。回顧すれば今年程世相の變遷の激しかった年はない。

編輯室より 昭和十四年にも間もなく去る。回顧すれば今年程世相の變遷の激しかった年はない。

編輯室より 昭和十四年にも間もなく去る。回顧すれば今年程世相の變遷の激しかった年はない。

編輯室より 昭和十四年にも間もなく去る。回顧すれば今年程世相の變遷の激しかった年はない。

編輯室より 昭和十四年にも間もなく去る。回顧すれば今年程世相の變遷の激しかった年はない。

編輯室より 昭和十四年にも間もなく去る。回顧すれば今年程世相の變遷の激しかった年はない。